



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

第67回 車座集会

— “落ち葉”でつながる宮前区 —

- 1 参加者紹介・市長あいさつ (10:00~10:10)
- 2 落ち葉に関する公園管理の現状と課題の共有 (10:10~10:20)
- 3 落ち葉の活用事例等の共有 (10:20~10:45)
- 4 意見交換
 - ・落ち葉の現状や区内の取組事例等について (10:45~11:15)
 - ・落ち葉の更なる活用に向けた持続可能な取組について (11:15~11:50)
- 5 まとめ (11:50~12:00)

令和6年3月24日(日) 午前10時から
宮前平こども文化センター



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Green For All
KAWASAKI 2024
第41回 全国都市緑化かわさきフェア



第67回 車座集会(宮前区)

テーマ:「“落ち葉”でつながる宮前区」



令和6年3月24日
宮前区役所



(1) 落ち葉に関する公園管理の現状と課題

(2) 落ち葉の活用事例等の共有

(3) 落ち葉の更なる活用に向けて



(1) 落ち葉に関する公園管理の現状と課題

(2) 落ち葉の活用事例等の共有

(3) 落ち葉の更なる活用に向けて

- 宮前区はみどり豊かな公園が多く、公園の落ち葉の量も多い傾向にありますが、集めた落ち葉については、これまで普通ごみとして捨てられていました。他都市では、落ち葉を堆肥として活用している事例もあり、区内の方からも落ち葉を活用したいという話も出ていました。
- こうしたことから宮前区においても、何か取り組めることがあるのではないかと考え、令和5年度の宮前区地域デザイン会議において、落ち葉の活用について関係者を集めて議論し、実際に落ち葉を活用したイベントも昨年11月に実施しました。
- 本日は、こうした落ち葉の取組を紹介させていただき、御参加いただいている皆様から御意見を伺いながら、落ち葉の更なる活用について市長と参加者の皆様で議論し、この取組を区内に広げていくきっかけをつくれたらと考えています。

<公園の落ち葉>



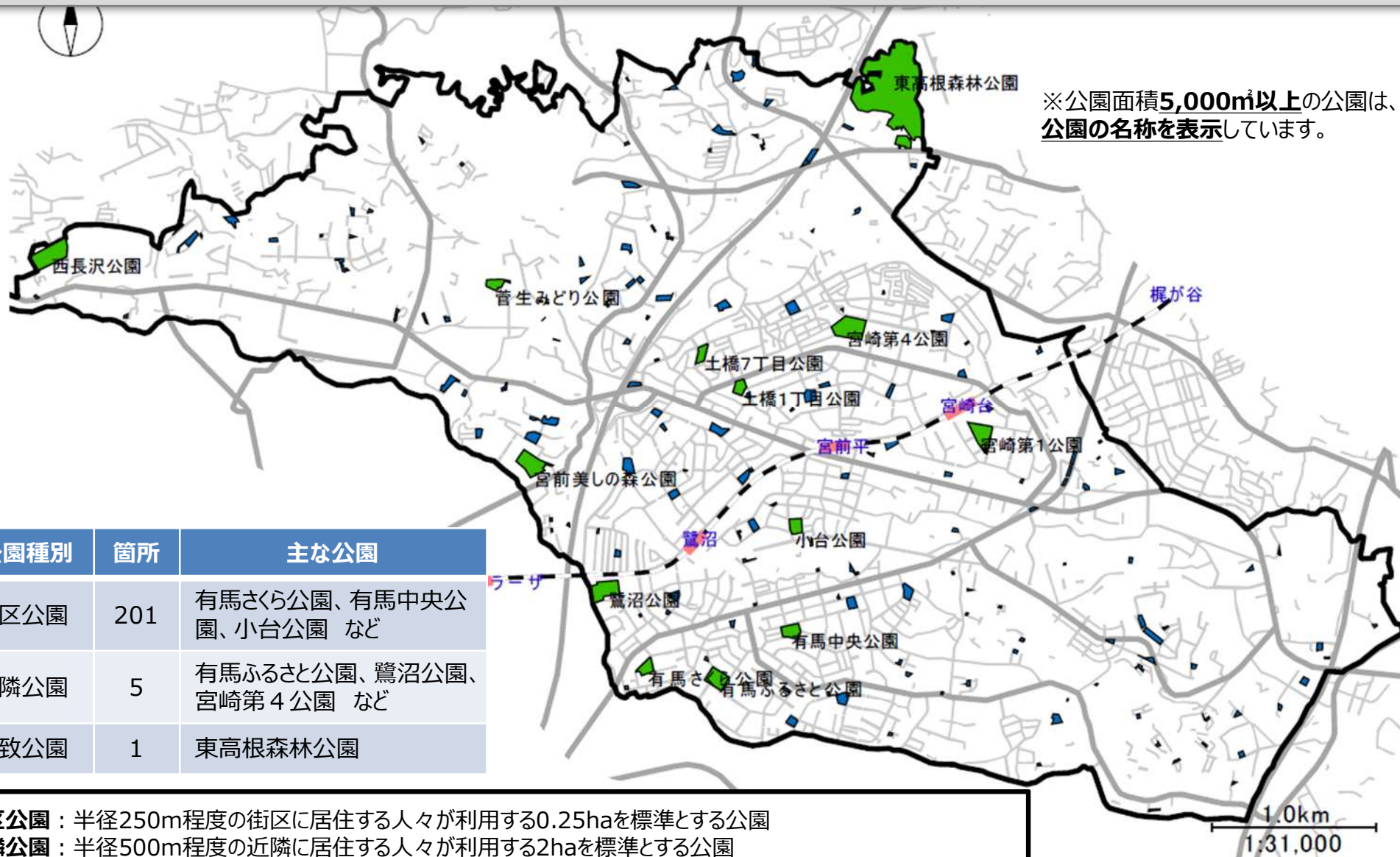
<令和5年度宮前区地域デザイン会議>



<落ち葉を活用したイベント>



- **宮前区**には、**街区公園**が**201か所**、**近隣公園**が**5か所**、**風致公園**が**1か所**あります。(R4.3.31時点)



公園種別	箇所	主な公園
街区公園	201	有馬さくら公園、有馬中央公園、小台公園 など
近隣公園	5	有馬ふるさと公園、鷺沼公園、宮崎第4公園 など
風致公園	1	東高根森林公園

街区公園：半径250m程度の街区に居住する人々が利用する0.25haを標準とする公園

近隣公園：半径500m程度の近隣に居住する人々が利用する2haを標準とする公園

風致公園：主として風致（自然の風景などのおもむき、味わい）の享受の用に供することを目的とする都市公園

- 公園緑地等の運営及び維持管理については、各区の道路公園センターにおいて行っており、**特に公園及び緑道緑地の除草・清掃等の美化活動や公園施設の保全等**については、主に町内会や自治会等の団体で組織する「**公園緑地愛護会**」及び「**公園管理運営協議会**」に報奨金を交付し、**ボランティア活動により管理**されています。

公園緑地愛護会

公園の除草・清掃等の**日常的な維持管理活動を自発的に行う団体として愛護会を設立**し、その活動に対して報奨金を交付している。

報奨金交付基準（年額）

面積	500m ² 以下	501m ² ～1,500m ²	1,501m ² ～3,000m ²	3,001m ² 以上
金額	12,000円	18,000円	24,000円	30,000円

公園緑地愛護会設立状況

(令和4年3月31日現在)

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	計
公園数	36	26	22	60	74	55	77	350

公園管理運営協議会

・公園の除草・清掃等の**日常的な維持管理に加えて、樹木の下枝落とし、低木の刈り込み、軽易な遊具の補修等の作業を行う。**
 ・**町内会等が行う盆踊りやゲートボール等の利用調整**を行う。

報奨金交付基準（年額）

面積	0m ² ～200m ²	201m ² ～500m ²	501m ² ～1,000m ²	1,001m ² ～1,500m ²	1,501m ² ～3,000m ²	3,001m ² 以上
金額	24,000円	42,000円	54,000円	60,000円	78,000円	90,000円

公園管理運営協議会設立状況

(令和4年3月31日現在)

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	計
公園数	88	79	84	64	88	53	119	575

- 他都市での活用事例として、京都市スポーツ協会が管理している運動公園では、毎年大量の落ち葉が出ており、「排出ごみの削減に向け落ち葉の有効活用を考えよう」と公園の落ち葉を堆肥化する取組を市内5か所の公園で行っています。
- 完成した堆肥は、スポーツフェスタ等、市民に配布し、ガーデニングなどにご活用いただいています。

スポーツフェスタや京の農林秋まつりで配布している様子



みんなのスポーツフェスタにおける落ち葉堆肥の配布実績

	開催日	配布数
第15回	平成30年 9月24日	300名
第16回	2019年10月14日	400名
第17回	2020年11月7日	360名
第18回	2021年10月30日	200名
第19回	2022年10月29日	200名

出典) 公益財団法人 京都スポーツ協会HP

- 宮崎第4公園の公園緑地愛護会の方に落ち葉等に関する公園管理の現状と課題について、説明していただきます。

発表者 1

宮崎第4公園 公園緑地愛護会

林 靖さん

- 年に3回 (6・9・12月) 近隣住民に声掛けを行って公園清掃を行っている。
- 少ないときは5, 6人しか集まらず、落ち葉を拾いきれないのが現状である。
- 近隣の学校にも声掛けを行い、昨年9月の清掃では、35名くらい来てくれた。
- 例年9月は落ち葉が少ないが、それでも50~60袋ある。
- 12月と3月はすごい落ち葉の量で、9時から11時まで清掃を行っても、全部拾うことはできない。落ち葉だけで100袋くらいの量になっている。拾いきれない分も含めれば、実際200、300袋の落ち葉がある。



・宮崎第4公園は、宮前区内に5か所しかない近隣公園で管理面積は2万㎡を超える大きな公園です。少年野球場を併設、上段と下段を結んでいる散策路があります。落葉樹の高木が多く植栽されています。



(1) 落ち葉に関する公園管理の現状と課題

(2) 落ち葉の活用事例等の共有

(3) 落ち葉の更なる活用に向けて

- 区内の落ち葉(堆肥)の活用事例について、紹介していただきます。

発表者2

有馬在住(落ち葉堆肥の取組を実施)

大島 京子さん



ROSE WALK GARDENERS

これからのガーデニング
街の落ち葉を活用しよう！



自己紹介

2000年
頃

現在

- 大島 京子
- 1977年 結婚し、現在の宮前区有馬8丁目で 主人と自転車店を営む。
- 1992年 トールペイントと出会い自宅教室「ペインターズ ガーデン」を主宰
- 2009年頃からガーデニングを始める。
- ローズウォークガーデナーズ 代表
- 川崎市緑地協会「緑のボランティア」



活動エリア



活動のきっかけ 有馬川沿い花壇

2014年夏、宮前区から許可を頂き、近所の友人達と有馬川沿いの空き地に花を植え始め、現在に至っています。

農薬 化学肥料を使わない **耕さない** 虫や雑草を敵としない花壇です。



2014年冬の有馬川沿い



2023年春のローズ
ウォーク

街路樹清掃、公園清掃でゴミとなる落ち葉



- 有馬町会では 6月、9月、12月の年3回 街路樹清掃が行われます。

- 街路樹 (1丁目~9丁目)

- 6月 317袋 (45ℓビニール袋)

- 9月 231袋

- 12月 921袋

- 公園清掃 (梅林公園、つつじ公園)

町会幹部、役員、部会、支部長

- 年間 約500袋

年間合計 約 **1,960袋** がゴミとして捨てられています。

参考2022年度 有馬街路樹愛護会及び公園愛護会データ

有馬さくら公園でのコンポストづくり



有馬9丁目
さくら公園の
手作りコンポ
ストです。

木の枝や竹、しの竹等、自然素材を使って作る堆肥枠（バイオネスト）は費用も掛からず、公園で調達出来る素材を活用します。写真は竹としの竹を使い 一時間ほどで完成です！



落ち葉・切り戻した植物（花・草・雑草）を入れ 米糠（微生物の餌）を撒いて踏みつけておきます。

微生物による分解で発熱。また、ワラジムシやミミズ等が食べて徐々に量が減っていきます。

手作りの看板で子供たちにアピール！この中にゴミを捨てる人は殆どいません。SDGs 効果のお陰かな？

有馬梅林公園 落ち葉コンポスト

竹を使った大きなコンポストを作り 町会の方々も巻き込んで
新たに落ち葉堆肥づくりを開始しました。





『森カフェ』

有馬ふるさと公園 (8丁目)

- 公園の東側、日陰で雑草に覆われたエリアを定期的に清掃し活用したいと思い「森カフェ」を実験的に始めました。
- 伊藤菊代さん(樹木医)によるワークショップ等(例: 傷んだ樹木の土中環境改善や樹木について学ぶetc.)
- アウトドア&ピクニック気分でコーヒーを飲みながら雑談。 地域での交流を図る。



落ち葉や雑草 体積した土
を取り除くと 木製タイ
ルが現れました。



落ち葉を集め 米糠を混
ぜ 土を被せるだけの簡
単コンポスト。



作業後は淹れたてコーヒー
やお菓子を頂きながら雑談。
皆さん良い笑顔。

- 区内の落ち葉(遊び)の活用事例について、紹介していただきます。

発表者3

**南野川特別緑地保全地区管理運営協議会(野川はあも) 会長
(落ち葉等を活用した遊びの実施)**

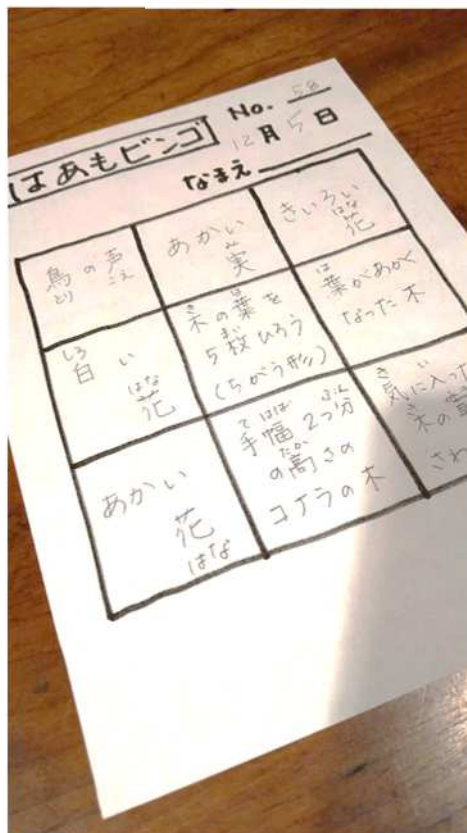
伊藤 菊代さん

- 「野川はあも」は、野川にある緑を知る・学ぶ・遊ぶ・育てる・守ることを目的に、主に南野川ふれあいの森をフィールドとして活動しており、緑地の保全活動や誰もが気軽に訪れることができる「親しめる森づくり」を行っています。
- 活動の中で、子どもが自然とふれあい楽しめる遊びも行っています。

落ち葉プール



はあもビンゴ(フィールドビンゴ)



- 9月26日に地域デザイン会議を開催し、「落ち葉活用」をテーマとして、現在の落ち葉清掃の現状や区内の取組等を踏まえながら、課題を整理しつつ、落ち葉の「堆肥活用」と「遊び活用」に観点を分けて、今後どのように取組を進めることができるか区内の関係者と議論しました。

(1) 日程 9月26日(火) 14時～16時

(2) 内容

- ① 落ち葉の活用をテーマとした理由について
- ② 落ち葉に関する公園管理の現状と課題
- ③ 落ち葉の活用事例等の紹介
- ④ 落ち葉活用に向けたアイデア出し
- ⑤ 落ち葉の活用に向けた意見交換
- ⑥ 落ち葉の活用に向けたイベントの実施について



課題

- ✓ 担い手の確保が課題
- ✓ 堆肥化する場所の確保も検討が必要

【落ち葉活用(堆肥)のアイデア出しまとめ】



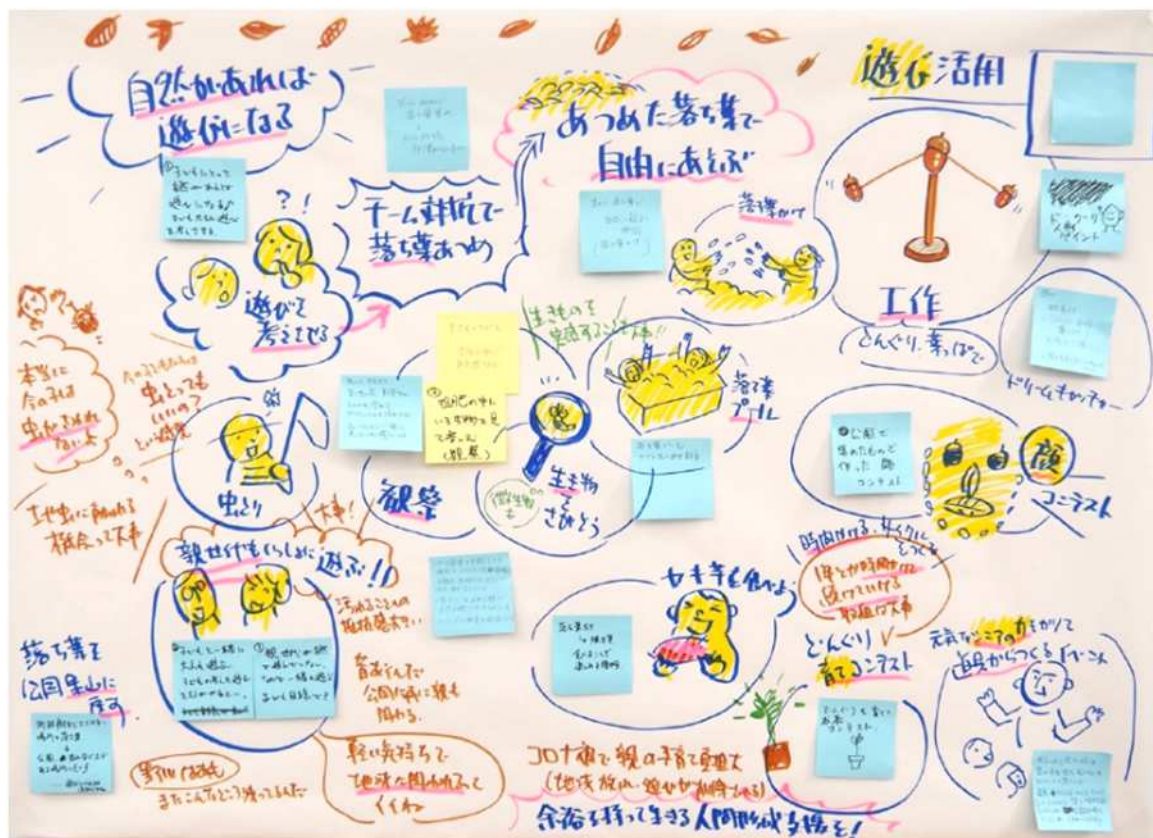
堆肥化のアイデアやポイント

- ✓ もっと気軽に堆肥づくりができるようにする
(決まったルールはない)
- ✓ 落ち葉は毎年出るので、負担なく継続できるしくみをつくることが大切!
- ✓ 公園清掃にこどもに参加してもらい、堆肥づくりや土に触れることを通じて、こどもがいのちの循環を感じる体験をつくる
- ✓ 体験を通じて、楽しい!と感ずることが大切

遊びのアイデアやポイント

- ✓ 子どもにとって自然があれば遊びになる
- ✓ 子どもたちに遊びを考えさせる
- ✓ ゲーム感覚で、チーム対抗で落ち葉を集める
- ✓ 親世代も一緒に遊ぶ
- ✓ 落ち葉プールなどで、落ち葉に埋もれる体験を増やす
- ✓ どんぐりや葉っぱを使った工作(どんぐり笛、ドリームキャッチャー、公園素材でつくる顔コンテスト等)
- ✓ 元気なシニアの力を借りて道具からつくるイベント
- ✓ 堆肥の中にいる生き物を観察する

【落ち葉活用(遊び)のアイデア出しまとめ】



- 地域デザイン会議で出たアイデアや関係者との意見交換を踏まえて、11月25日に実際に落ち葉を活用したイベントを実施しました。

1 日程 11月25日(土) 10時～12時

2 場所 宮崎第4公園

3 イベント協力者 (主催者側)

- ・地域デザイン会議に参加してくれた方

4 イベント参加者

- ・宮崎第4公園を利用している市民等

5 イベントの内容

(1) みんなで落ち葉拾い

みんなで楽しく落ち葉を集める

(2) 落ち葉プール

集めた落ち葉をプールに入れて楽しむ

(3) フィールドビンゴ

公園の中で自然にふれあうミッションをクリアしてビンゴをそろえる

(4) 落ち葉堆肥づくりに挑戦

集めた落ち葉を植物の栄養になる堆肥にする

Colors, Future! 川崎市
COLORS FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 2024

落ち葉であそぼう学ぼう!

日時 11月25日(土) 10:00～12:00
※雨天延期(12月2日(土))

場所 宮崎第4公園(宮崎6丁目2-3)

内容

- ① みんなで落ち葉拾い
みんなで楽しく落ち葉を集めよう!
- ② 落ち葉プール
集めた落ち葉をプールに入れて楽しもう!
- ③ フィールドビンゴ
公園の中で自然にふれあうミッションをクリアしてビンゴをそろえよう!
- ④ 落ち葉堆肥づくりに挑戦
集めた落ち葉を植物の栄養になる堆肥にする取組をみんなでチャレンジしよう!

申込み 不要(参加費無料)※当日直接公園までお越しください。

その他 汚れてもよい服装でお越しください。 当日の開催有無は区HPで確認!

【問合せ先】
宮前区役所まちづくり推進部企画課
TEL:044-856-3133
メール:69kikaku@city.kawasaki.jp

Green For All KAWASAKI 2024

※本イベントは、令和5年度宮前区地域デザイン会議のテーマである「落ち葉の活用」で議論した内容に基づき取り組んでいます。

- イベント当日は、周辺にお住いの親子など、約90名の方にご参加いただき、これまで捨てていた落ち葉を、みんなで楽しく集めて、あそんで、学ぶことができました。

(1) みんなで落ち葉拾い



① 2つのプールを用意



② みんなで落ち葉拾い



③ 集めた落ち葉をプールに投入



④ あっという間に落ち葉が一杯に

(2) 落ち葉プール



① 最初は落ち葉プールに入るのをためらっていた子どもたち



② 慣れてくると落ち葉に戯れて無邪気に遊んでいる

- 「見る」「聞く」「かぐ」「味わう」「さわる」の五感を働かせて遊べるフィールドビンゴの様々なミッションを通して、公園全体を使って自然を感じながら楽しむことができました。

(3) フィールドビンゴ



① フィールドビンゴのルールを説明しスタート



② ミッションを達成状況を確認



③ 景品を選んでいる様子

フィールドビンゴ

次のミッションをクリアしたら〇をしよう!!
ビンゴができれば景品をプレゼント♪

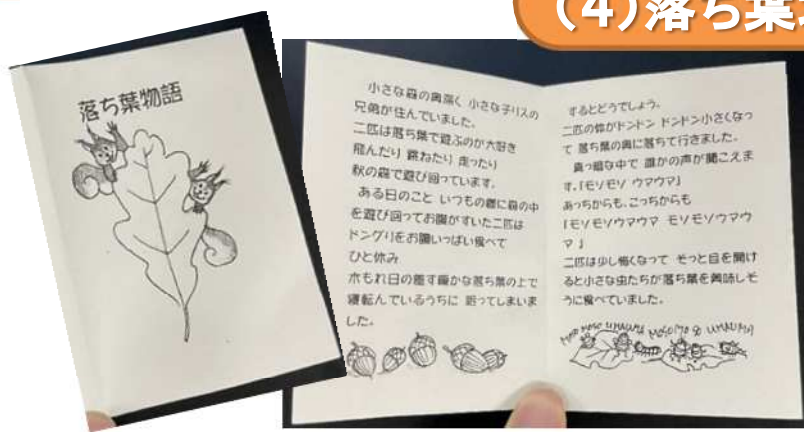
 落ち葉のにおいをかいでみる	 大きな木の下で空を見上げる	 こども文化センターをみつける
 どんぐりを3こひろう	 形のちがう落ち葉を3まいひろう	 ピンクの花をみつける
 葉っぱがついてない木を見つける	 黒い実(木の実)を見つける	 落ち葉を手でクシャクシャにしてその音をさく

フィールドビンゴとは?

「見る」「聞く」「かぐ」「味わう」「さわる」の五感をはたらかせて、自然を体全体で感じて、ビンゴを完成させていく遊びです。

- 落ち葉が堆肥になることを絵本を読んで学び、みんなで堆肥づくりにチャレンジしました。

(4) 落ち葉堆肥づくりに挑戦



① 大島さんが作成した落ち葉が微生物に分解されることが分かる絵本「落ち葉物語」を配布



② 事前に収録した「落ち葉物語」の朗読の音声（語り手：手塚梓さん）を流し、みんなで傾聴



③ プールに集めた落ち葉を運ぶ



④ 堆肥作りの囲いに落ち葉を投入（3,4センチ程度）



⑤ 米ぬかと水を入れて子どもたちが踏む（④と⑤を繰り返す）



⑥ イベント実施後、大島さん作成の看板を設置

実際に当日のイベントの様子を
YouTubeで公開(3分28秒)しています
ので、ご覧ください！

YouTube公開URL

<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=25sFhRgLVRs>

- このイベントを通して、楽しみながら自然を感じ、学びも得られたという感想を多くいただきました。また、この取組を今後区内に広げてほしいという意見もいただきました。
- 一方、堆肥作りした落ち葉は、定期的に攪拌させて発酵（半年から1年）させる必要があり、その管理は誰が行うのか、また、完成した堆肥を誰に利用してもらうかなどについて、多くの方が関わり継続的に実施できる手法を考えていく必要があります。

イベントの感想 (大人)

- ✓ いつもは汚れるからと落ち葉で思い切りあそばせることはなかったのですが、今日は存分に遊ばせられて良かったです！良い体験をさせていただきました。
- ✓ 初めはおっかなびっくりだった子ども達が最後には落ち葉の申し子のようにワイルドに戯れていたのが印象的でした。
- ✓ 3才なので全てが分からなくても、落ち葉を踏んで楽しみました。また、それが栄養分になることを学べたようです。
- ✓ とてもいいイベントだと思います。宮前区全公園にコンポストを設置してくれたらいいと思います。

イベントの感想 (子ども)

- ✓ おちばプールがおふろみたいで、とてもたのしかったです。おちばをあつめるのがたのしかったです。
- ✓ おちばは、たいせつだとおもいました。あと、フィールドビンゴがたのしかったです。





(1) 落ち葉に関する公園管理の現状と課題

(2) 落ち葉の活用事例等の共有

(3) 落ち葉の更なる活用に向けて

- 落ち葉活用イベント終了後に落ち葉堆肥の取組を広げる活動をされている事例を紹介していただきます。

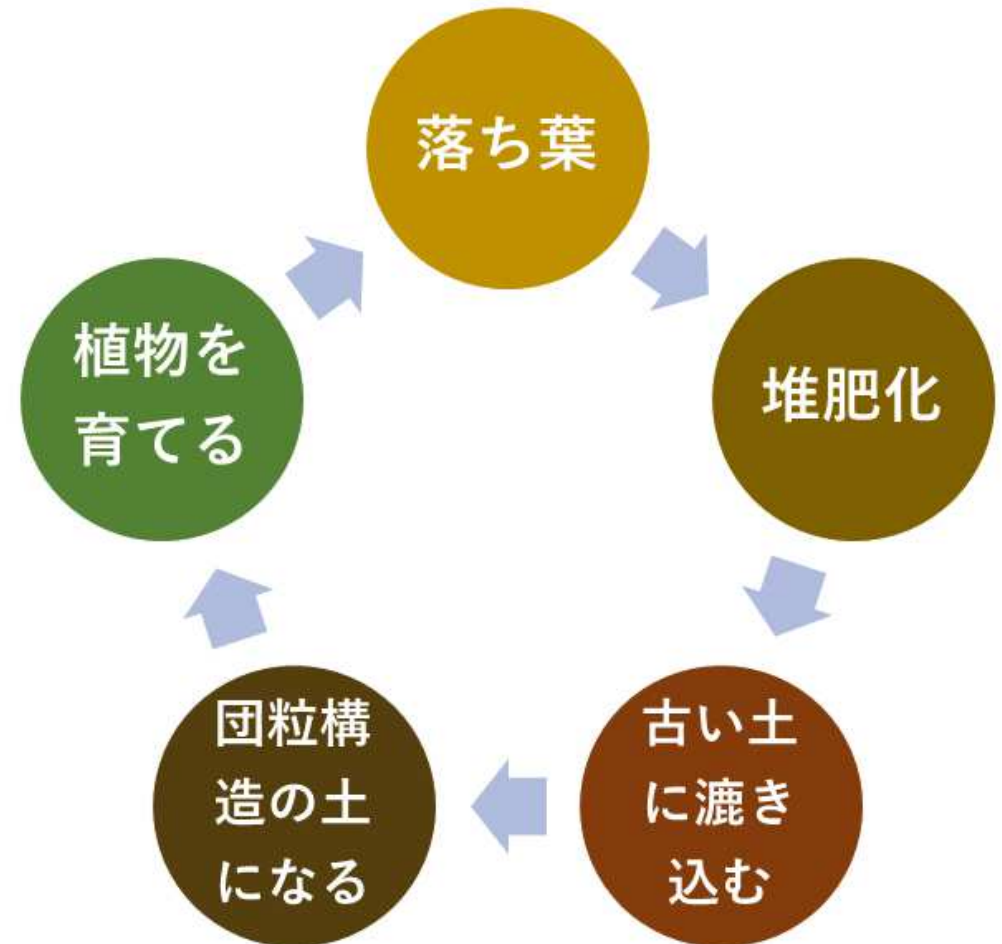
発表者4

有馬在住(落ち葉堆肥に取り組み)

大島 京子さん

持続可能な落ち葉堆肥活用システムづくりの必要性

落ち葉堆肥を作るだけで無く
町会、地域住民、公園愛護会、花壇ボ
ランティアが力を合わせ **落ち葉堆肥**
の循環システムが出来たらと考えてい
ます。
作った堆肥は 公園花壇や地域の方々
に無償提供し**有効活用**されます。
古く固くなった土に落ち葉堆肥を漉き
込み小動物や微生物の働きで**団粒構造**
の土へと変わり 植物の成長を助けます。
ゴミにしない事でCO²の削減にもなり
ます。



宮前郵便局花壇

今年一月 地域住民と郵便職員とが力を合わせて花壇づくりをと言うお話があり、公園で作った落ち葉堆肥の活用となる予定です。バス通りでバス停も目の前に有り、好立地。郵便局2Fの会議室をお借りして花壇づくりのためのミーティングやワークショップ等を開催。地域の方々との繋がるの場所としても活用出来たらと考えています。





宮前郵便局 ・ 有馬町会 ・ 行政 地域花壇ボランティアによる協働



JP 日本郵便

(案)

郵便局の緑化活動(花壇の活用) 【緑化活動を通じ地域との交流を図る】

《目的》

郵便局の施設を活用し、区役所、有馬町内会、川崎緑地協会と連携し、緑化活動に取り組む。

【施設(花壇)の活用】

- ① 現在、活用していない花壇を町内会(ボランティア)に利用してもらう。
- ② 有馬町内会の街路樹清掃で集まった落ち葉で腐葉土を作っている
ので、その腐葉土を分けてもらい(無料)、宮前郵便局の花壇に入れる。
- ③ ボランティア団体「やまぼうしガーデン様」から花の種や花の苗木を
無料提供してもらう。
- ④ 手入れ等は、やまぼうしガーデン様と社員(CS委員等)で協力し雑草等
を抜くなど美化活動に取り組む。

【定期的な打ち合わせ(地域交流)】

- ① 年に数回(季節ごと)打ち合わせを行い地域交流を図る。
- ② 街路樹や公園清掃に参加する。

イメージ図



【効果等】

- ・郵便局の施設を有効活用できる(緑化、美化)
- ・地域との交流の場となる(社員意識向上・信頼)
- ・地域との共生(地方創生)
- ・落ち葉での腐葉土づくりは、CO2の削減(SDGsの推進)
- ・経費がかからない(経費削減)

3月15日有馬町会の方々の協力でバス通り側
花壇の土づくりが無事完了しました。



2024年 宮前郵便局花壇という大きな受け皿が与えられ本格的な落ち葉堆肥づくりが実現できそうです。まだ多くの課題がありますが一つ一つ皆さんと話し合い、協力しあいながら実現に向けて進んで行きたいと考えています。



- 企業と協働で里山管理している水沢特別緑地保全地区の取組について紹介させていただきます。

発表者 5

まいばすけっと株式会社

庄田 佳恵さん

水沢緑地で企業との 里山保全活動をしています

川崎市の緑地

川崎市は緑地の**保全**に努めています。
現在、川崎市全体で**約140ha**の緑地を**保全**しています。
川崎市では、緑地の適正な管理が課題となっています。



企業と協働で里山管理をしています

これまでの実績

富士通	(麻生区)
川崎信用金庫	(麻生区)
NEC	(高津区)
岡上小学校・和光大学	(麻生区)
日本ロレアル	(高津区)
NEW まいばすけっと	(宮前区)

水沢緑地



活動成果

年間4回程度活動をしており、各回40名程度参加しており、昨年4月にはサクラ、モミジなど約100本を植樹しました。

竹林については、間伐整備を行い、夢見ヶ崎動物公園のレッサーパンダに提供しています。

また、つる植物が茂っていた場所は、草を取り除き新たな森として再生を試みています。



中に入ると...

